



杉並

# 区労連便り

杉並区労働組合総連合  
2021. 11. 24 (水)  
TEL FAX 5941-5332

## 杉並区労連第30回定期大会開く



去る10月28日(木)、阿佐谷地域区民センターにおいて区労連第30回定期大会が開かれました。

コロナ感染が下火になったとはいえ、まだまだ油断できない中でしたが、駆け付けた代議員の皆さんの奮闘で(出席代議員は17分の14)無事終了することが出来ました。

大会は、議長に全厚生の方角谷さんを選出した後、ただちに議事に入りました。第一号議案の経過と運動方針案、第二号議案の決算と予算案の提案を高田議長が行いました。会計監査は、監査の佐藤さんが

所用で出席できなかったため、大会議長の角谷さんが報告を代読しました。

大会は、7人の討論発言の後これらの報告と提案を採択。また新年度の役員を選出をしました。

選出された今年度の役員は次の通りです。

【議長】高田勝義(電機・情報ユニオン) 【副議長】前山武雄(都教組) 【事務局長】峰一史(杉並一般) 【常任幹事】佐藤正史(全厚生日本年金機構) 新津慶太(福祉保育労) 村上豊(建交労) 八木智彦(日本年金者) 【会計監査】佐藤憲一(全厚生)

### 来賓のご挨拶

東京都産業労働局  
労働相談情報センター  
田口洋平さん

雇用を取り巻く情勢は依然として厳しい。昨年度は5万2千件を超えている。内容は退職、職場の嫌がらせ、労働契約など。特に職場の嫌がらせの内容は深刻なものが多し。こうした中、労働組合の果たす役割は益々大きい。皆様の雇用の安定確保と労働条件改善に向けた取り組みの発展を心から祈念申し上げます。

杉並総合法律事務所

弁護士三浦佑哉さん

この間の生活相談、労働相談で、一番困っている人というのは、コロナ禍の前から立場の弱い非正規の方が多く、コロナが追い打ちを掛けてきたというのが実態だ。選挙では分配が争点の一つになっているが、分配が先だということは明らかだ。何といっても職場にどうまりながら、職場と結びついて労働条件改善し職場環境を良くし、パワハラをなくしていきたい。仕事を辞めてから相談する、解決金を払わせる、裁判する例が多いが、その前に組合に相談して、一緒に闘い、労働者の権利を勝ち取る。そのような運動をみなさんと一緒に起こしていきたい。

### 分断と格差の社会をなくしたい

全国大学生協連合会労組

大学生協は最大の困難な状況だ。売り上げは半分。リストラも進み、毎月仲間を送り出している。こうした中、組合員を守るためには何でもやるという決意で取り組んでいる。

感じているのは分断が進んでいるということ。1%と言われる富裕層にとつては都合の良い状況が進んでいる。

## 大会の発言から

コロナ下の学校で  
都教組杉並支部

という文脈で分断が作り出されている。こういうことを為政者は知っていないはずだが、なぜとめないのか？それは彼らにとつて都合がよいからではないか。私達は賃金闘争を通じて、そういう悪断と格差をなくすために闘っていききたい。

学校現場も大変な状況が続いている。子どもたちに我慢を強いているところがたくさんあるので、子どもたちの笑顔を守るために日々奮闘している。

いろいろな矛盾を感じているが、一番大きかったのは、夏のパラリンピックへ子ども達を動員したことで、あれはひどかった。

教育委員会も振り回された感じで、我々の日々のコロナ対策とは全くあべこべのことがやられ、やれと言われたら何でもありになるのではないかと現場では感じた。

今、一人一台のタブレットでのオンラインが全国で進んでいるが、問題も多い。

(裏面つづく)



## 第30回定期大会スローガン

- 1 新型コロナウイルスを一刻も早く収束させ、誰もが8時間働けば暮らせる社会をつくろう！
- 2 組織拡大ですべての労働者を迎え入れ、要求を前進させよう！
- 3 全国一律最賃制と最賃1500円の実現をめざそう！

(表面よりつづく)

中学生では、学校に行かなくてもよいので不登校のお子さんにとつては救いのツールになる。しかし、不登校を促進するという面はないのか、よく見ながら進めていく必要がある。

ネット上のトラブルも増えている。勝手にユーチューブを見たり、写真をアップロードしたりする例も聞く。子どもたちのために導入したものが逆に被害者、加害者になる例もある。その辺の問題解決をしっかりとやっていく必要があると思っている。

「ゆきとどいた教育の署名」など教育条件整備の運動も続けているので、今後ともご協力をお願いしたい。

### ストレスの高い職場で

#### 福祉保育労

コロナ過の中、会議などはZoomを使ったきたが、保育は日常の会話が大事なのにそれが中々できないので

困った。

子どももマスクをずっとしているが、小さい子はなかなか大変。何より大人が感染源になることが怖いので、ストレスの強い環境の中で働いてきた。こうした中で、どう組合は活動していくらよいか。

保育園が休園したときには、メッセージビデオとか手遊びなどの映像をユーチューブで限定公開、保護者だけ見られるようにして、少しでもコミュニケーションが取れるようにと、今までやったことがないことを話し合いながら一緒にやってきた。

今後とも、賃金やストレスの高い職場環境をどう改善していくかを考え、取り組んでいきたい。

### 組合加入！

#### 全厚生日本年金機構本部支部

本部は高井戸にあるが、府中で仕事をしている。この間、全職員向けピラを配布してきたが、その結果非常勤の方が一人組合に加入した。その人は非正規と正規の格差問題に取り組んでいる人だった。今後とも輪を広げ、共に闘っていきたい。

八月末に支部大会を開いた。昨年はリモートと併用だったが、今年は全員現地参加で成功させることができた。

### 医療費削減の流れを止めよう

#### 東京民医労健友会支部

健友会労組は、医療と福祉の法人、中野の共立病院で働いている。この8月の第5波は大変だった。限られた病床なのですぐに満床に

夜中の12時頃に救急隊から受けた要請を朝の6時にまた連絡があり、涙ながらに断る、という状況だった。私どもは小さな病院なので、はじめは軽症の方の受け入れだったが、中等症以上、重症に近い方も受け入れなければならなかった。患者さんは立つこともできないのでお弁当にしてもそのたび看護師さんたちは防護服を着る。目の前のことに夢中なので自分たちの大変さを発信することも中々できない。



やはり医療とか介護の職員が足りないのは明らか。介護職で時給千五百円で働ける人はまれ。賃金が低いから人も集まらない。

特に感染症対策は民間だけでは無理なので、都立・公社病院とかの役割はものすごく大きい。それをなくして独立法人化するような流れは変えていかねければ。

後期高齢者の2倍負担増も、今のままでは来年から始まる。医療削減を続けてきた自民党政治は変えなければと思う。署名などの取り組みにご協力をお願いしたい。

### 労働者の生活を守る

#### 自交総連宮園労組

コロナ禍で大変な状況だ。営業収入は2、3割落ちている。賃金収入も、とりわけ中小企業は経営危機になっている。これから倒産したり大手に買収されたり、失業者も出てくる。労働組合もこれまで以上に存在が重用になってきている。

タクシー会社は、歩合制賃金が本来だが、ウチの会社は最低賃金制度というのを導入していて、最低賃金を稼いできたらそのまま支給されるのではなく、さらに最低賃金の倍くらいをノルマのような感じで稼いでくるという形になっている。そこから上が歩合ということになるので、それは大変なことだ。それを引き下げるよう、秋季闘争の中で取り組んでいる。

### 若い人に大事なことを

#### しっかり伝えたい

区内で診療所・介護事業を運営しているところの労働組合だ。コロナ禍の前から法人の事業規模拡大に取り組んできた。職員も2割ほど増え、組合にも新しい人が入っている。

新人に賃金のことを話す時、最後に必ず「こつちを向いてくれる政治でない」と最終的に賃金は上がらないよということをしっかり伝えていかなくては、と思っている。まだぴんと来ない反応だが、こういうことをもつと伝え、知ってもらいたいと取り組んでいる。



## 争議団紹介

### JAL不当解雇撤回原告団

2010年の大晦日に不当解雇されてしまった私達の闘いも11年になった。これまでの皆様のご支援に感謝申し上げます。

これまでの闘いの中で、パイロット原告の中から4名、客室乗務員の中から1名計5名が地上職して職場に戻ることができた。ようやくここまで来たが、これで解決とはならない。復帰したい方はどうするか、復帰したいが時間がたち過ぎ戻れない方もたくさんいる。そういう方の補償をどうするか、会社はまだ答えを出していない。

この4月、会社側の責任者が代わり初めて「皆さんに対して申し訳ないことをした」と思っている」と述べた。この言葉を生かして、解決に結び付くよう考えている。

歩みは遅いが少しづつ前進している。引き続きご支援をお願いしたい。

### 社会保険庁不当解雇撤回原告団

最高裁で敗訴したので終わり、と忘れ去られたりしているのではないかと思います。年金問題は残ったままであり、無責任な首切りをしたという事実をないがしろにはできない。それにもかかわらず社会保障制度を改悪することは許せない。

社会保険庁分限免職者はまだ頑張っているよ、と皆さんにも見せたい。